2024 年度（令和６年度）　西興部小学校　学校だより　No. １５

はぐくむ 育夢

深く考える子　思いやりのある子　強くたくましい子　令和７年２月２１日（金）

デジタル時代の教科書

校長　三村　文弥

１月２２日の北海道新聞に「デジタルも正式教科書に」という記事が掲載されました。現在、試験的に一部教科で紙と併用されているデジタル教科書を正式な教科書に位置付ける検討に入ったというニュースです。検討段階ということでトップニュースにはなっていませんでしたが、もしデジタル教科書が正式な教科書となれば、教育行政の一大転換点とも言える大きなニュースです。**紙の教科書を使うか、デジタル教科書を使うかは、各教育委員会が選択できるよう検討を進め、２０３０年度の導入を想定**しているそうです。この３月には、検討結果の中間まとめが示される予定ですが、今回示された方向性が実現すると、５年後には、地域によっては教科書が全てデジタルに切り替わるということになります。入学式で新１年生に配られるのは紙の教科書ではなく、タブレット端末（貸与）になるということです。４月の１年生教室で、しばらくの間、端末の使い方やデジタル教科書の開き方などの指導に追われる先生方の姿を想像するに難くありません。あるいは就学前から端末を使った活動に力を入れる幼稚園や保育所が出現したりするかもしれません。他市町村に転校・転勤した児童生徒や先生が、教科書が変わって「困った！戸惑った…」なんてことも考えられます。

社会のデジタル化は時代の趨勢で、学校現場でも、学習支援アプリや生成 AI の活用などデジタル化が急速に進んでいます。文科省が進める「一人一人の興味関心に応じた学び」を実現する上でも、デジタル教材やタブレット端末が果たす役割は小さくなく、**現場の先生方はデジタル教科書・教材を使った授業を実践できる力をつけておく必要**があります。ただ、紙の教科書・デジタル教科書双方に一長一短、メリット・デメリットがあり、一概にどちらがよいと決めるのは難しく、デジタルと紙の教科書を併用していても、長年慣れ親しんだ紙がいいというのが現場の実情かと思います。

左は、生成ＡＩで作成した著作権フリー画像。近い将来、学校現場、授業でも生成ＡＩを活用する場面は、増えていくと思われます。

昨年１０月２２日、読売新聞に「教科書「紙」に回帰…スウェーデン　端末重視で学力低下」と題し、教育のデジタル化がもたらす影響を特集した記事が掲載されました。記事によると、日本より１０年以上早く学習用端末の「１人１台」配備が広まり、教科書を含めデジタル教材への移行が進んだ IT 先進国・スウェーデンは、昨年、学習への悪影響から紙の教科書や手書きを重視する「脱デジタル」に大きく舵を切ったそうです。取材を受けた現場のベテラン教員は、「１０年ほど前、端末使用を前提に授業を組み立てた。すると、子どもたちの集中力が続かない、考えが深まらない、長文の読み書きができないといった様々な変化が教室で起きた。」と話します。実際、デジタル教材が教室に深く入り込んだスウェーデンでは、子どもの学力を測る国際調査で、「読解力」「数学的応用力」「科学的応用力」などの成績の落ち込みが目立ち、アンケートで「デジタル機器で、よく注意散漫になる」と答えた生徒は、OECD 加盟国の平均より 6.5 ポイント高かったそうです。**他国に先駆けて教育のデジタル化を進めたスウェーデンは、一周回って紙の教科書が「１人１冊」となるよう再普及を図っている**と言います。

デジタル教科書を巡る論点、課題は山積しています。双方に一長一短あるならば、両方を無償配布してはと思ってしまいますが、それも財源的に難しいようです。他国の事例や現場の声、科学的な知見や根拠をもとに慎重に検討を進め、単純な二者択一にならないことを望むばかりです。

追記：２月１４日（金）に中教審中間まとめ案が示され、２０３０年度から「デジタル・紙・紙とデジタルのハイブリッド」の３形態から各教育委員会が選択する方針が決定されたとの報道がありました。低学年のデジタル教科書の使用については検討を続けるようです。

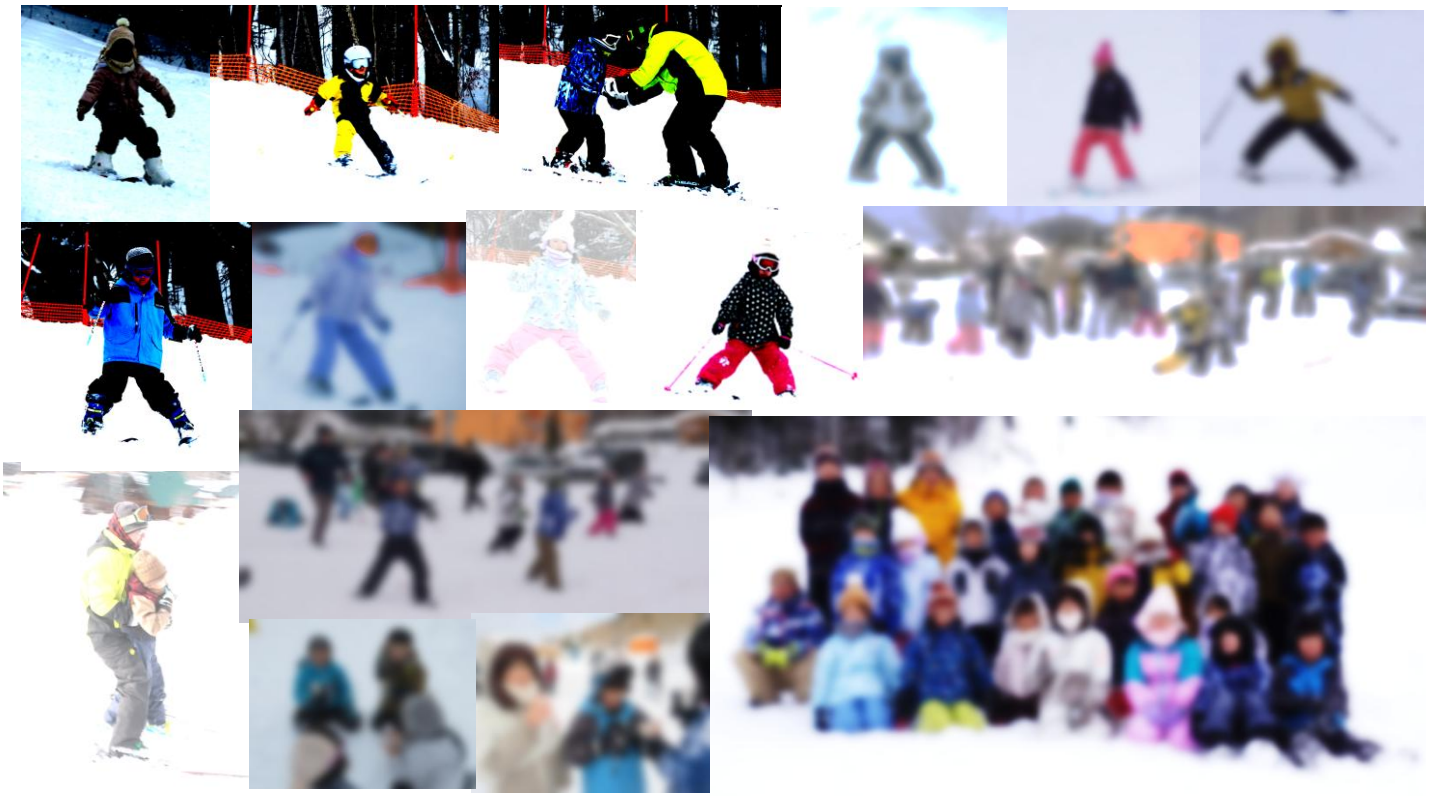
西興部小ブログ
ブログへのアクセスは左の QR コードから。
次の URL からもご覧いただけます。
https://nishiokoppesho.blogspot.com/
学校行事の様子など西小の教育活動を写真付きで公開しています。どうぞご覧下さい。

スキーまつり　2月14日（金）

ご多用の中、お越しいただきありがとうございました。１月から２月にかけて、全５回の授業を通して、子どもたちはそれぞれの目標を定め、発表会に向けて練習を重ねてきました。特に１年生にとっては初めてのスキー学習でしたが、スキー協会より伊藤様、佐々木様、そして保護者の皆様のご協力を賜り、ほぼ全員がリフトに乗って滑り降りることができるまでになりました。

また、保体委員会主催の雪中レクリエーションでは、保護者の皆様とも交流を深めることができ、大変盛り上がりました。

冬はまだまだ続きます。 冬ならではのスポーツや遊びを存分に楽しんでください。



3月の行事予定

２日（日）　ノーゲームデー＆読書の日
３日（月）　全校朝会
１２日（水）　卒業式練習
１４日（金）　全校４時間授業の日
１６日（日）　ノーゲームデー＆読書の日
１７日（月）　大掃除①
１８日（火）　大掃除②
１９日（水）　大掃除③　卒業式練習
２１日（金）　卒業式練習
　　卒業式準備（1、2、６年生５時間授業）
　　（3、4、５年生５時間授業）
２４日（月）　卒業証書授与式・修了式（３時間授業）
２５日（火）～４月６日（日）　学年末・学年始休業

新１年生体験入学　2月5日（水）

次年度は６名の新入生を迎えます。受付では緊張した面持ちだった新入生たちも、１年生の皆さんの優しい案内や授業でのサポート、そして交流会での体を動かすゲームを通して、次第に笑顔を見せるようになりました。給食試食では、美味しそうにモリモリと食べ、おかわりをする姿も見られました。４月に元気な姿で再会できることを楽しみにしています。